



しんじょう中学校通信

～仲間とともに高めあい 豊かな学びと心を大切にする学校～

「想像力」って何だろう？

3月もあっという間に10日が過ぎ、まもなく令和3年度の卒業証書授与式、修了式を迎えます。本校では、1月の後半から新型コロナウイルスの影響を受け、どの学年も閉鎖する期間がありました。今年度の締めくくりの大切な時期に大きな打撃を受け、もどかしさや悔しさも募りましたが、現在は、なんとか落ち着き、今年度のゴールを目指している所です。コロナに翻弄された厳しい状況の中での一年でしたが、振り返ってみると、今ある環境を受け止めて、仲間とともに過ごした時間は、みなさんにとって本当に貴重なものだったのではないのでしょうか。自分では気づいていないかもしれませんが、学びや経験を積み重ねることで、ひと回り大きくなった自分があるはずです。体の成長は、目に見えてわかりやすく、心の成長は確かに気づきにくいものですが、この一年の学びが、土台となって太い幹となり、さらなる成長につながっていくことを信じています。

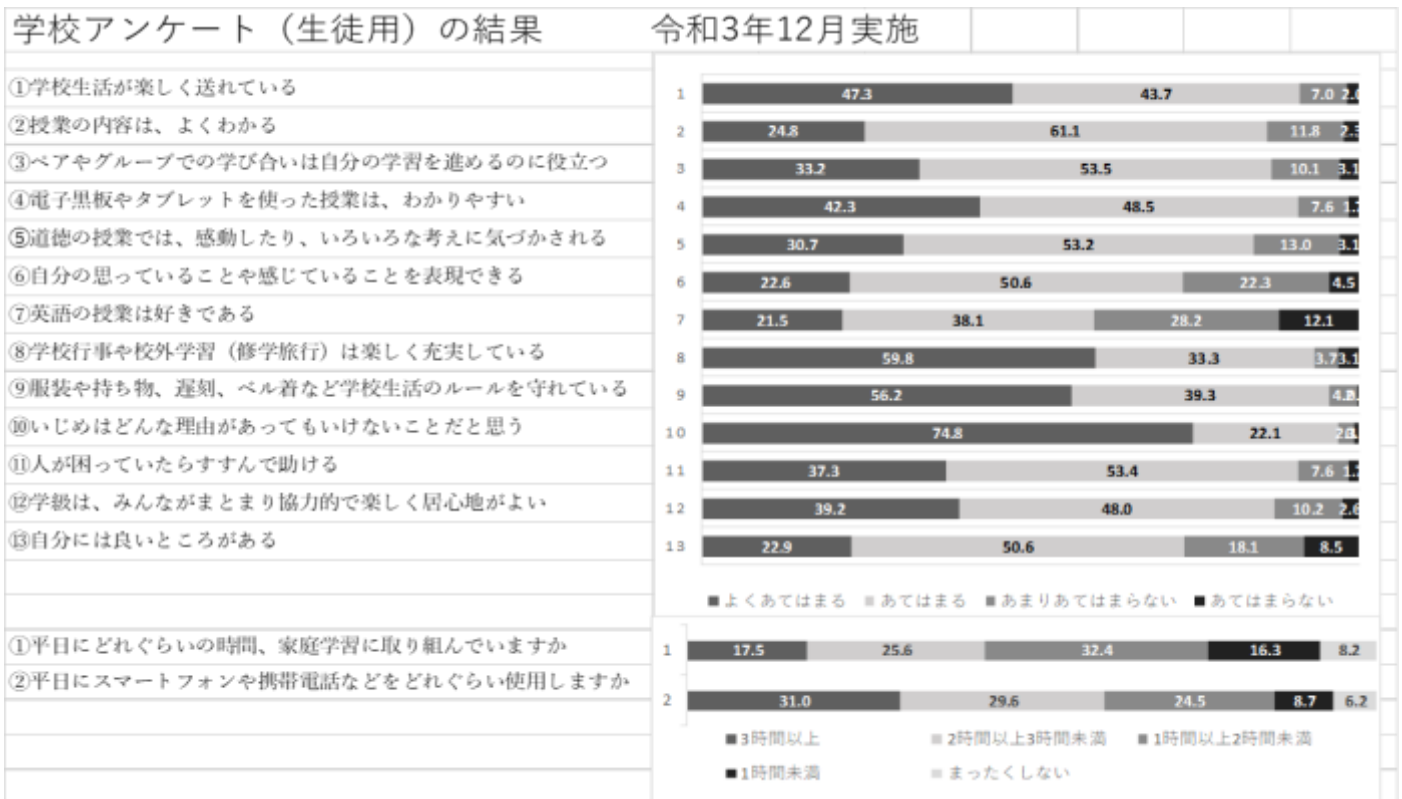


さて、ずいぶん前の「天声人語」に下記のような内容のものが書かれていました。

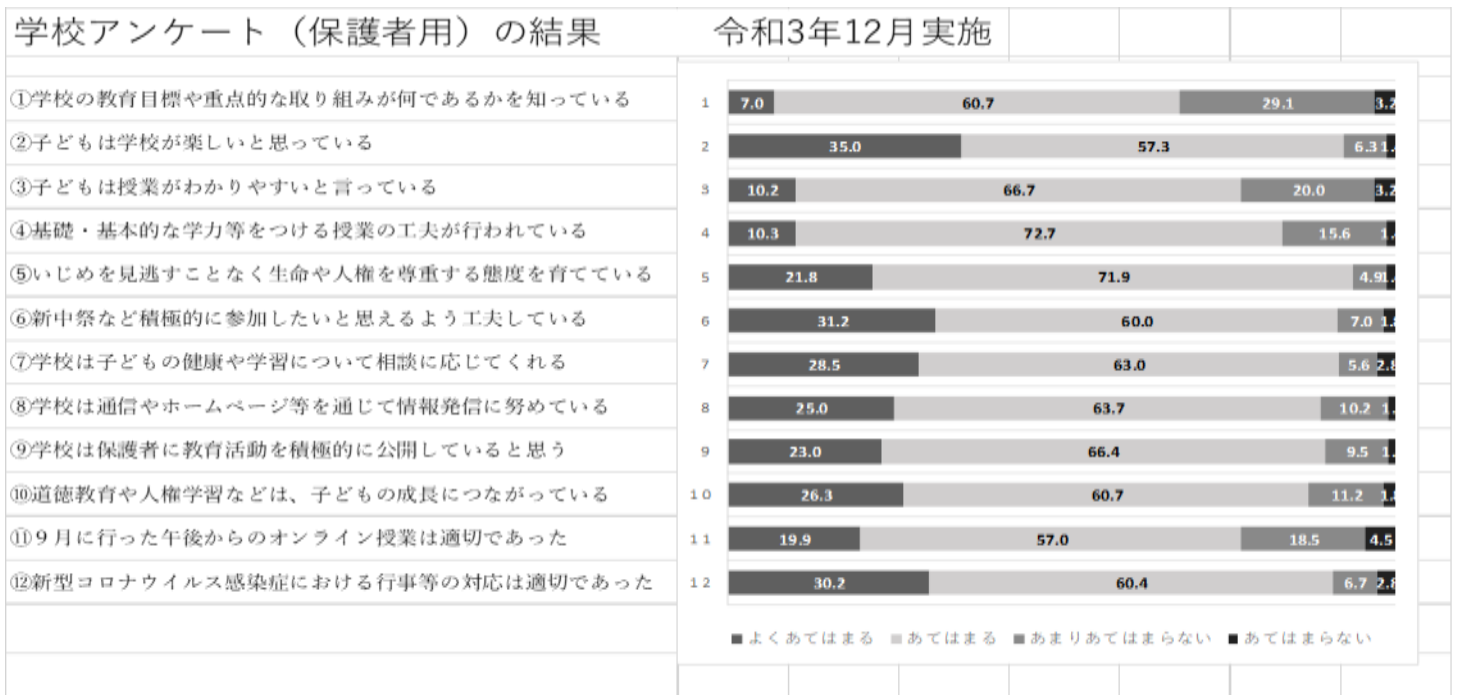
静岡大学の稲垣栄洋教授によると、生命の長い歴史の中で、生き残ってきたのは強者ではなく、変化に適応できる弱者の方だったと・・・ネアンデルタール人や恐竜などの絶滅については、諸説あるとのことですが、弱者が生き残ったのは、弱さゆえに集団性を強めて、その過程で仲間が何を考えているのかを「想像する」という力を得たからではないかということです。想像は一人ひとりが異なり、その多様性が生き残りの鍵となり、逆に言えば強いものは、その強さのために変化を望まず多様化しにくかったのではということです。

みなさんは、全校道徳の授業の中で「人間の強さや弱さ、賢さや愚かさ」について真剣に考えてきました。これからも本当の強さや弱さは何なのかを考え続けていってほしいと思います。よりよく生きるための答えは、ひとつではなく、答えなきものを考える難しさもあることと思いますが、そんな時こそ、みなさんのしなやかで柔軟な想像力を大いに発揮してください。この一年間、コロナ禍の中でも明るさを失わず、自分と向き合いながら一生懸命に日常を過ごしてきた皆さんを誇りに思います。それぞれの次のステップでの活躍を願っています。

保護者や地域の皆様、一年間、本校に多大なご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。



学校生活のルールを守るやいじめはどんな理由があってもいけないなどの肯定率が高く、学校の秩序が保たれ学校生活の楽しさにもつながっていると考えます。授業におけるわかりやすさでは、今後も工夫しながら授業改善に向けて取り組んでいきます。自分の思っていることや感じていることを相手に伝えたり、ノートに書いたりする力をさらに育てていく必要があると感じています。肯定的に捉えられずに、しんどい状況の中で学校生活を送っている生徒も存在するという視点を忘れずに、一人ひとりへの関わりを大切にしながら、今後も最善の指導や支援につなげられるよう取り組んでいきます。



授業や行事の様子を直接、見ていただく機会がなかったのは非常に残念でしたが、その中でも一定の評価をいただきありがとうございました。わかりやすく基礎学力が身につく授業の工夫等、真摯に受け止め今後にかかしてまいります。